



毎度お世話になっております。株式会社シロクマです。当社は4月17日～19日、大阪市南港のインテックス大阪で開催される総合福祉展「バリアフリー2014」に今年も出展いたします。新製品や新技術はもちろん、オリジナルのオーディオスピーカーも展示しますので、皆様どうぞご来場の上、有益な情報をお持ち帰りください。

今月のホット情報

取り付け方法は4タイプ。石こうボードにも付けられます！

カラフルでデザインも豊富な「どこでもフック」

①



U Uピンタイプ

②



C コンクリートピン
木ネジタイプ

③



T 簡単にはがせる粘着タイプ

④



M マグネットタイプ

取り付け場所に応じた4タイプの取り付け方法で、バリエーションも豊かなシロクマの「どこでもフックシリーズ」は、他社製品とひと味違った個性で、ご好評をいただいております。

取り付け方法は①Uピンタイプ②コンクリートピン 木ネジタイプ③簡単にはがせる粘着タイプ④マグネットタイプ。①は石こうボード・プリント合板(木質新建材)・柱・板壁に、②はコンクリート・ブロック・タイル目地・柱・板壁に、③は金属塗装面・タイル・ガラス・ステンレス・柱・板壁・化粧合板に、④はスチール家具・冷蔵庫や洗濯機などの金属塗装面・ホーローキッチンなどに取り付けられます。

このシリーズでは多くの製品に「どこでもベース」という当社独自の取り付けベース(ポリカーボネート製)が付属しています。それぞれの取り付け方法で、ベースを設置面にしっかりと固定、その上にフック本体を被せ、下方にカチッと音がするまでずらしします。あらかじめ角形状のベースを取り付けるので、フックの位置決めがしやすく、まっすぐに取り付けやすいのがメリットの一つ。

従来のフックでは難しかった立体感のあるデザインも実現しました。ベースのサイズが同じなら、模様替えなどに応じてフック本体の取り替えも自由です。

最近、壁材の主流となっている石こうボードの場合、従来のXピンタイプでは打ち込んでいる最中にピンが曲がって失敗したという事例も。当社は独自に採用したUピンをベースまたは本体の穴に差し込み、コインなどで押し込んだり、ハンマーで軽く打ち込むだけで、失敗もなく簡単に取り付けられます。差し込んだUピンはバネの力で抜け落ちません。

粘着タイプは取り外した時にテープが設置面に残っても、指で巻き取るようにするときれいにはがせて跡が残りにくいです。マグネットタイプはマグネット面に傷防止兼滑り止めシートを貼っているため、安心して使えます。

ベーシックなフックが多い中で、カラフルで豊富なデザインも、ひときわ目を引きます。

